

## 触媒反応場を組み立てる

ガンダムなどアニメの影響で、高校あたりからエネルギーに関心を持ち始め、大学では、「究極のエネルギー源」の太陽を人工的に創る核融合の魅力に取りつかれましたが、所属する学科が、その道とは違う化学系でした。4年生の研究室配属のとき、太陽光エネルギーを化学物質に貯蔵する人工光合成の研究を、大阪大学の福住俊一教授の研究室が行っていることを知り、すぐに配属を希望しました。当時、「不夜城」という噂があり、希望者は意外と少なく、難なく配属が決まり、福住先生のもとで人工光合成に関連した触媒研究をスタートしました。・・・